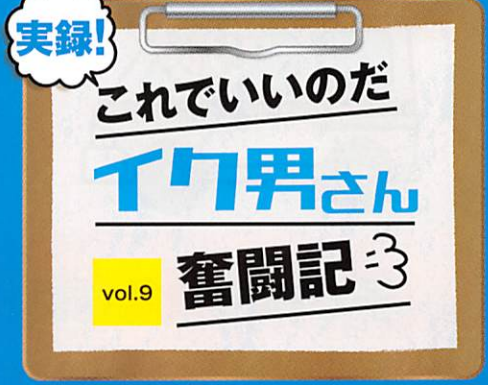


ひんまる × 福山市産業振興課



自身が単身赴任中の出産・育児、妻の不安や負担を減らすために取得しました。

Q 育児休業中、大変だったことは？

長男と少し年が離れて次男を出産したため、育児所得時には長男が小学生。わんぱくな盛りで元気な長男に宿題をさせたり、遊び相手になったりと、手がかかることもあり、育児の大変さを再確認しました。



Q 育児休業を取得して良かったことは？

長男の時は違う職に就いていたため、育児取得ができる環境ではなかったので、1週間ではありますが、妻の手伝いができたり、子どものことをしっかりと見ることができました。何気ない日常の1コマも、全て楽しかったです。



愛する子どもと愛するママのために育児を積極的に行う男。それがイク男！仕事と家庭を両立できるナイスガイ！忙しさを時間につくれないという弱気なパパ達に子育ての楽しみ方をお見せします。



今回のイク男さんは、次男が生後半年の時、1週間取得



イク男さん Profile Name: 原野 勝美さん(40歳) 妻・長男(7歳)・次男(1歳)

イク男さんの1日

Schedule

- 6:30 起床・長男の学校準備、送り出し
- 7:30 朝食・次男の世話
- 9:00~ 買い物・家事など
- 12:00 昼食・次男の世話
- 15:00 長男帰宅後、宿題
- 16:00 長男と遊ぶ
- 18:00 夕食
- 20:00 長男・次男とお風呂
- 21:00 長男・次男の寝かしつけ
- 22:00 就寝

POINT やりたいことをさせる

子どものやりたいことはできるだけさせて、子どもの感性を育てています。また、その「やりたい」ことを見つけるために、いろいろな場所に出かけたり、さまざまな経験をさせて子どもの興味・関心を大切にしています。



ライフパーク倉敷科学センター

倉敷市福田町古新田940

さまざまな科学に関する展示室やプラネタリウムもあり、子ども大人も楽しめる施設。科学講座や天文講座、イベントなども開催しているので、気になった方はHPをチェック。



ママからメッセージ



単身赴任中の出産・育児でしたので、そばにいてくれるだけでありがたかった。特に長男へのフォローをしてくれたおかげで、体力的な負担が軽減され、家族の時間がゆっくり持てたことに感謝しています。



自身が単身赴任中に産したため、妻への負担が大きかったことと、会社が育休取得を助めてくれたことがきっかけです。取得前は、自分が仕事を休むことで他の社員に迷惑がかかるのではないかと不安でしたが、周囲のフォローもあって問題なく取得することができ、仕事復帰も円滑でした。

福山市発信

育パパ情報コラム

元祖イクメン

イクメンとは、2000年代以降に出てきたイメージがありますが、実はもっと昔、はるか奈良時代にもイクメンは存在しました。彼の名前は山上徳良。万葉集の中の貧窮問答歌という和歌を書いた人といえ、社会の授業で聞いたことがあるのではないのでしょうか。その万葉集の中にこんな歌があります。「徳良は今もは龍(ま)からむ子泣くらむ それその母も我をまつらむ」これを現代語に訳すと「徳良はもう帰ります。今この子も泣いてるでしようし、その子もまた一緒にいる妻も待っているでしよう」

仕事中でも、家庭のことを最優先に考える。これがイクメンのあるべき姿ではないでしょうか。こんな徳良さんですから、帰宅した後も家事や育児をしていたことでしょう。

また、こんな歌もあります。「瓜食めば子ども思ほゆ栗食めばまそ思ほゆいへより来りしものそ自交にもなかりで安眠しなさせ」瓜を食べれば(家に残した)子どものことが自然に頭にでてくる。栗を食べればなむさうだ。といった子どもたちはどのような縁で私の子ととしてやってきたのだろうか。目の前に子どもの姿がちらちらと眠れないイクメンは時代を超えて存在するパパ。

